

事務事業名	下水道普及促進事業				担当	上下水道部 下水道課 業務係・農業集落排水係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	下水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和58年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	下水道法							
予算科目	9.公共下水道事業特別会計	1.公共下水道	1.総務管理費	1.一般管理費				
事業概要	生活環境の整備及び公共用水域の水質保全を目的に設置された公共下水道施設の有効利用のため、下水道及び農業集落排水区域の世帯に対して普及促進を実施する。 1.新規供用開始地区住民への通知 2.来年度の下水道工事予定箇所世帯に対しての工事概要及び受益者負担金説明会 3.水洗便所改造資金の融資あっせん 4.下水道の日に合わせた広報車での宣伝及び水処理センター見学会実施 5.下水道いろいろコンクール作品募集及び優秀作品表彰展 6.未水洗化世帯への戸別訪問や接続依頼通知による啓発 7.指定工事店会議開催時に説明し、工事店を通してのPR 8.その他PR							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 ・広報車での宣伝 ・下水道いろいろコンクール作品募集及び作品展示 ・新規供用開始地区への通知 ・未接続世帯への戸別訪問や接続依頼通知による啓発 ・水洗便所改造資金融資あっせん制度のPR ・水処理センター見学会の実施 2年度計画 前年と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	新規供用開始地区への通知	件	29	37	40	26	30	
イ	説明会の開催回数	回	1	0	1	1	1	
ウ	下水道いろいろコンクール作品募集及び作品展示	回	1	1	1	1	1	
エ	未接続世帯への啓発	件	409	371	372	360	360	
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 下水道処理区域内の下水道未接続世帯	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	公共下水道処理区域内の未接続世帯	世帯	1,211	1,146	911	865	1,226	
イ	農業集落排水区域内の未接続世帯	世帯	362	354	350	347	342	
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 下水道の使用拡大	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	公共下水道処理区域内の接続世帯	世帯	17,485	17,990	18,667	19,066	19,180	
イ	農業集落排水区域内の接続世帯	世帯	2,315	2,334	2,340	2,347	2,362	
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 快適で衛生的な生活環境で暮してもらおう。公共用水域の水質汚濁防止。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	公共下水道普及率	%	57.9	58.4	59.2	59.6	60.6	
イ	公共下水道の水洗化率	%	93.7	94.3	95.6	96.0	96.1	
ウ	農業集落排水の水洗化率	%	91.1	91.8	91.9	92.2	92.4	
エ	河川の水質が良いと感じている市民の割合	%	68.3	67.2	68.1	70.3	70.3	
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	215	219	204	315	271	
	事業費計(A)	千円	215	219	204	315	271	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240
		人件費計(B)	千円	997	996	1,001	970	970
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,212	1,215	1,205	1,285	1,241	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和58年3月に公共下水道が供用開始したのに伴い、1日でも早い下水道の利用を図るため。また市民生活様式の変化に伴い、農産部においても生活排水が農業用水や河川に流れ込み、水質が悪化してきたため、昭和59年度に飯貝地区農業集落排水施設建設に着手した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	開始当初の公共下水道水洗化率は25.7%だったが、現在は、96.0%になっている。また、農業集落排水は、昭和62年供用開始した飯貝地区から平成21年4月に供用開始した二宮東部地区まで順次整備して現在11カ所の地区が供用開始している。現在の水洗化率は、92.2%となっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	下水道事業の趣旨は理解しているが、接続する費用が負担となるため、すぐに接続するのは難しい。